

学校 教育 目標	多くの人との関わりの中で【公・開】 ● 自他の生命を尊び、互いに思いやる豊かな人間性を育みます【徳・体】 ● 進んで課題を発見し、ねばり強く解決していく力を育みます【知・徳】 ● 自ら学力の向上に努め、自立的に学び続ける力を育みます【知】				
	創立 77 周年 児童生徒数: 465 人	学校長 熊切 隆	副校長 増田 宣明 本多 幸生	3 学期制	一般学級:12 個別支援学級:3 夜間学級:3
学校 概要	主な関係校: 蒔田小学校、南太田小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	蒔田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> ・認める力(自己肯定感) ・伝える力(コミュニケーション) ・チャレンジする力(地域貢献・社会貢献)	蒔田中学校 蒔田小学校 南太田小学校	○目標を見つけ学び続ける子ども ・発達段階に応じたキャリア教育を通し、先の見通しをもって自己実現を目指す子どもを育てる。 ・「できる」「わかる」体験を通して、自信をもち、自他を高める子どもを育てる。 ・まちや人との関わりを通し、社会とつながり、地域を愛する子どもを育てる。

中期 取組 目標	「生徒・教職員・保護者・地域関係者」のすべての人が学び育つ学校づくりを目指します。 ○ICTを活用しながら基礎・基本の定着を図り、主体的に考え協働的に学び続ける学校 ○自律を目指し多様性を尊重し、豊かな感性を育む学校 ○自分の役割を果たしながら持続可能な社会の実現に向けて行動できる学校
----------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①校内授業研究テーマをもとに、年間を通して授業改善を進める。②ICTを活用した授業展開を図り、主体的に考え学ぶ生徒を育成する。③各教科で年1回は南区教研、校内授業研、小中一貫教育推進ブロック授業研などで研究授業を行い、授業改善を進める。
担当	学習指導部	
徳	豊かな心	①全ての教育活動の中で、自己理解を深め、自分及び他者をかけがえのない存在として大切にする心を育む。②道徳の授業を中心として、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。③「学び合い」を通して、他者とともに協調し、相手を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育む。
担当	生活指導部・学習指導部	
体	健康安全教育	①定期健康診断を通し、自身の発育、発達を理解するとともに自身の健康状態を考え、生活する力を育てる。 ②多様な生徒の状況を理解し、保健教育を実践するために、外部機関との連携を図っていく。 ③総合的な学習の時間に防災教育を計画的に位置づけ、各学年で段階的に学びを深められるようにする。また教科とも連携しながら地域にも発信できる力を育てる。
担当	保健指導部	
公 開	キャリア教育	学級・委員会・学校行事において①日常的にリーダーが活躍できる場面をつくりだす。そのために、委員会体制やクラスの班活動を見直し、リーダーを中心とした集団活動を取り入れる。②各活動の振り返り項目は、「キャリア・パスポート」とも連携させながら書式・質問内容の統一を図り、認める・伝える・チャレンジする力の意識を高められるようにする。
担当	特活指導部	
いじめへの対応		①いじめの未然防止としてYPアセスメントを年2回実施し、生徒理解を深める。②年間3回以上のいじめアンケート及び生活アンケートを実施し、教育相談を行う。③いじめ防止対策委員会を定期的に開き、進展状況の確認や対応方針を確認する。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①事務処理日の適切な実施日、内容を明確にする。②ICTを活用した実践例などを全職員で共有し、さらなる働き方の効率化を図る。ミラ임で共有で終わらず、職員間のコミュニケーションも大事にする。メンター研修を継続し、全職員のチーム力を高める。③育てたい資質・能力のさらなる意識化と見える化を目指す。
担当	教務部	
教育環境整備		①毎月安全点検を行い、学校施設・設備の安全、維持管理に取り組む。②授業等で活用する教材教具やICT機器を計画的に整備し、適切に管理する。③防火シャッター点検や消防設備点検により報告された事項を改善し、生徒が安全に学校生活を送ることができるように環境を整備する。
担当	事務部	
地域連携・ 学校運営協議会		①地域や関係機関と連携を強化し、防災教育及びキャリア教育の充実を図る。②これから再開される地域行事に向けて、生徒が関心と目的をもって参加できるような教育活動を展開していく。
担当	教育課程検討改善委員会	
特別支援教育		①昨年度に引き続き、特別支援に関わる研修を通して、多様な学びが必要な生徒の実態を把握し、さらに職員の間相互理解と実践力を高める。②学習支援、登校支援、自立支援など、多様化する生徒の教育的ニーズに対応し充実させるため、職員の理解を深めて学校全体で特別支援教室の運営を実践する。
担当	特別支援教育推進委員会	
多文化共生教育		①国際理解や多文化共生の視点に立った集団活動や体験的な活動を通して、豊かな心を育てる。②年齢や国籍に関係なく、互いに思いやる集団づくりを行う。③多様な他者の中で、対話を通して自己を確立し、相互理解を深め、地域社会の構成員として共に生きていくことを目指す。
担当	夜間学級	